

第4回学校教育委員会報告

議題「新設校の制服について」

【提案趣旨】

平成26年4月に舞鶴中ブロックに誕生する施設一体型小中連携校は、高い教育力を有する魅力ある公立学校として整備を進めており、学校教育委員会においても、子育て世帯の都心居住につながるような魅力ある学校創りの一環として、制服を検討したい。

【提案内容】

平成26年度開校の新設校における服装は、従来の標準服（詰め襟、セーラー服）に加え、オリジナル制服による一体感づくりも小中連携教育の推進の一助として検討したい。

【部会で出た主な意見】

- ・ 中学校の服装として、オリジナルの制服（ブレザー型）を検討してはどうか。
- ・ 小学校の服装についても、施設一体型小中連携校の一体感を生み出すため、オリジナル制服を検討してはどうか。
- ・ 制服購入、児童生徒の成長により買い換え等の経費を考慮する。
- ・ 日常の手入れのしやすさ、自宅での洗濯やアイロン等の簡易性を考慮する。
- ・ 小学校の場合、制服にとらわれず、上着のみ校章入りのポロシャツ等も検討する。
- ・ 制服の要・不要についても一考してはどうか。

【検討方針の決定】

舞鶴中校区の児童生徒及び保護者に「**意向調査（制服アンケート）**」を行い、新設校における児童生徒の服装の検討方針を決定する。

“新設校の制服について”

平成 26 年 4 月に舞鶴中ブロックに誕生する施設一体型小中連携校は、高い教育力を有する魅力ある公立学校として整備を進めております。

学校教育部会においても、子育て世帯の都心居住につながるような魅力ある学校創りの一環として、制服を検討したいと考えております。

1. 方針決め

選択肢

A. 小学校も中学校も従来どおりでいく。

小学校：私服 中学校：標準服(詰め襟・セーラー服)

B. 小学校は従来どおり私服，中学校は新規に制服を選定する。

C. 小学校も中学校も制服を選定する。

2. 選定の手続き

(1) 制服選定の方針について、舞鶴中校区の保護者の皆様や児童生徒に対し、意向調査を行います。

意向調査の結果、オリジナルの制服をつくることになった場合は、

- (2) みなさまのご意向を基に方針を決定します。
保護者や児童生徒への選定内容に係わるアンケートをとり、制服の生地や、形、色、経費等に関する意見を収集する。
- (3) 制服業者に条件を提示し、数社に制服の試作を依頼する。
- (4) 試作した制服数点を一定期間展示し、意見収集を行う。
- (5) 出展業者に収集した意見を基に試作制服の改良を依頼する。
- (6) 改良した試作制服を再度、展示し、サイズや金額等の紹介を行う。
- (7) 試作制服の中からどの制服を採用するかの地域、保護者アンケートを実施し、試作制服の承認を得る。
- (8) 選定された制服についての詳細の条件を詰め、開校年度前に当該校長から選定された制服制作業者に制作依頼を行う。

同様に、スポーツウエアや上靴、体育館シューズ、カバン、サブバッグ等の選定を行う。

“制服の検討資料”

【本市の現状】

	春・秋・冬（スリーシーズン）	夏服	靴
小学校	私服	私服	自由
中学校	標準服 ・ 詰め襟・学生服（黒）	標準服 ・ 長ズボン（黒） ・ 半袖開襟シャツ or 半袖カッターシャツ（白）	白を基調 華美でない物
男子	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 詰め襟制服 価格 16500 円位～32000 円前後 </div>	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 夏服カッターシャツ＋スラックス価格 7300 円位～10400 円前後 </div>	
女子	セーラー服 ※襟ライン本数や色のちがい ※リボンの色の違い（赤・白・紺・緑 etc.）	・ 半袖開襟シャツ（白）丸襟・角襟 ・ ノースリーブのジャンパースカート 写真参照 ※H23 年度から新デザイン採用	
	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> セーラー服価格 24000 円位～34500 円前後 </div>	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 夏服新規格 14700 円位～18700 円前後 </div>	

＜標準服採用の考え方＞

福岡市内の各中学校では、生徒らしい簡素な身なりをさせるための服装として標準服を採用している。学校は多くの生徒が集団で学習する場であり、落ち着いた学習環境を保つために標準服は役立っている。

標準服の採用は学校長の判断によって、学校独自のものを選ぶことができるが、福岡市では保護者の費用負担が軽減でき、市内の転出入にも対応できるよう、中学校長会が、共通して使える標準服を作成している。

【従来の制服検討における配慮事項】

- ・ 福岡市立学校の中の一つの学校であることから、他校との際だった格差を持たない配慮が必要であり、生徒の転校転入の際の新たな経済的負担等に配慮する必要がある。
- ・ 学生として一定程度、派手とならないような色や型とするように配慮する必要がある。
- ・ 常時着用することから、耐久性があり、汚れが目立たず、家庭で手軽に選択できるなどの配慮が必要である。また価格の均衡性に配慮する必要がある。

◆◆◆ブレザータイプの制服採用の場合◆◆◆

【想定される費用の現状との比較】 価格：制服としての初期費用

性別	小学校	価格	中学校			
			3シーズン標準	価格	夏服	価格
男	私服	/	標準服	16500～32000 円 前後	標準服	7300～10400 円 前後
女				24000～34500 円 前後		14700～18700 円 前後
男	私服	/	ブレザータイプ	30000～35000 円 前後	標準服 +独自性	7300～10400 円 前後
女				30000～35000 円 前後		14000～20000 円 前後
男	ブレザー タイプ	上限 35000 円前 後	ブレザータイプ	30000～35000 円 前後	標準服 +独自性	7300～10400 円 前後
女		上限 35000 円前 後		30000～35000 円 前後		14000～20000 円 前後

ブレザー制服のイメージ



【従来標準服とブレザータイプとの各長短】

ブレザータイプ	観点	詰め襟学生服・セーラー服
・福岡市発の事例となり、ニュース性や同時性の強調には効果的。	独 自 性	・中学生の全国一律の標準服。女子は福岡型。長い歴史で、部分的な工夫はあるが作り込まれた形である。一般的である。
・社会性などを意識した発想の学生服づくりの幅が広がる。	デザイン性	・上記に準じ、色の工夫や、ラインの付加などが可能である。
・体型がかなり強調されてくる。	外 見	・体型補正の効果を持っている。
・本市唯一の制服としての意識は高くなるとともに、制服を有する本校に対する“ほこり”を醸成できる。 ◎小学生も制服採用で同一性がある場合、上級生・下級生の関わり意識が高まり、低学年を見なければと言う自覚と責任感が生まれる。	集団への帰属感	・福岡市の公立中学校の一員としての自覚を持つことができる。制服による集団としての共有感を持たらすことができる。
・本市一校のみの制服であり、周囲の関心が高いため、規律に準じる意識が強くなる。	規 律	・小学校から中学校への進学の節目づくりが行いやすい。
・小中一貫教育の推進のため採用されている。統一感やアイデンティティーを示す役割。1年生から4年生、5年生から9年生で、2タイプの学生服。	採用学年	・福岡市での小学生の制服はない。 ・中学校から、詰め襟学生服、セーラー服を採用している。
・採用する内容によるネクタイ、カッターの裾だし、ズボンの位置など指導点の課題が生まれる。	生徒指導上	・学生服のボタンを止める指導等で、秩序的な納めを付けやすい？
・フォーマルとしても着用でき、冠婚葬祭に使える利便性有り。 ・耐久性に富む一着により、長く使用できる。	経 済 性	・フォーマルとしても着用でき、冠婚葬祭に使える利便性有り。 ・耐久性に富む一着により、長く使用できる。
前述「想定される費用」参照 ※小中共に、ブレザー採用の場合 発達上、3回ほどの買い換えが必要？ a.小学校1～4年間 a.小学校5・6年+中学校3年間 a.中間服としてのベスト等	価 格	前述「想定される費用」参照 ・私服（6ヵ年） ・詰め襟学生服（3ヵ年） ・セーラー服（3ヵ年） ・中間服（スラックス・カッター等）

【新制服を中学校のみ導入する場合】

- ◆ 平成26年度新入学生から新制服を採用 2・3年生は、現行標準服を着用する移行期間を適用する。

【新制服を小中学校に導入する場合】

- ◆ 小学校6ヵ年、中学校3ヵ年にわけて新制服を設定するのか？
この場合、何年生までを新制服への移行期間とするのか？
中学3年生は、移行期間として現行標準服の着用を認める。